



「子ども関連施設等」基本設計へ

—— 子どもと文化でまちの賑わいを！ ——

児童館が1館（交通児童館）の豊橋市で、松葉の病院跡地に計画が進む施設計画に関心が高まっています。ここで考えられているのは、①子育て ②体験・発見 ③集い ④発表・表現の4つの機能を持つ施設で、子どもを中心に大人まで利用でき、まちの賑わいが期待できることが前提です。

基本構想（H15年3月）、基本計画（H16年3月）と続き、新年度は展示等基本設計&建築基本設計に4,870万円余の予算がつきました。

来年は実施設計、再来年から建設。第一次整備として①～③の建物はH20年開館予定。二次整備としてH21年度以降に検討される④を、とよはし市民会議は、子どもから専門家まで使用可能な音楽ホールにと提案しています。

とよはし市民 会議の提案

子どもの問題は待ったなし。今すぐ必要な情報の提供を！
人材の養成と配置、建物と心の両面からのバリアフリーを。

■子ども（0歳から18歳）のための総合相談窓口の充実を

現在母子保健センター、教育会館、障害福祉課、児童福祉課、保育園、社会教育課、市民課等々で行なわれている相談実績と経験の上にたって、縦割りや法の限界などで、解決できない問題を受け入れ、本市の「子ども相談」の課題を整理し、それぞれの相談機能の充実と総合化を図るための窓口とする。

■重度心身障がいを持つ子も一緒に、安心して過ごせる施設づくりを！

子どもや親が、相談したいとき、気軽に、何でも、まずここへ。障がい、虐待、DV、不登校、高機能自閉症、引きこもりなど、適切な「相談窓口の紹介」とアフターケア、他機関との連絡調整機能をここに置くこと。

最新情報

住基ネット

H15年度 住基カード交付状況：290枚（残1,710枚）

8月～12月（149枚） 1月～3月（141枚）

H16年度は前年度の残りをあわせて2,710枚でスタート。

Q：今年1月から3月までに141枚の交付があってもまだ住基カードを持つ人が少ない中、持つメリットはあるのですか？

A：引越し手続きに便利と言われていましたが、余分な時間と手間、費用がかかることにはわかりがありません。また電子申請の際、公的個人認証に利用できるとしたサービスも、民間の個人認証を利用すれば足りるので、メリットはなし。

Q：ヤフーBBから私のところにも500円のお詫びの郵便が来て、いやな感じ。私の11桁の住基コードは絶対安全と言えるの？

A：連日のように個人情報の流出が続いていることで、個人情報への関心が高まっています。また、テロや犯罪対策として指紋、監視カメラの設置など、ますます監視社会へまっしぐらです。私たち一人ひとりに付けられた11桁の住基コードで「名前＋生年月日＋性別＋現住所」が判明するしくみを、「権限のある人が合法的に使う時が監視社会の完成」との考えに立つと、住基ネットが監視社会のツールとなりうるのがますますはつきりしてきました。

H16年度予算の概要と課題

とよはし市民会議「予算提案書」（HPに掲載）もご覧ください。

★資源化センター

運転管理諸経費に注目の年

①生産物売払収入

・・・電力 1,320万円 蒸気0円
スラグ 118万円

稼動3年目に入るガス化溶融炉に、初めてスラグ収益が計上。処理経費減への最短の方策は徹底したごみ減量からと、今年も提案を続けます。

②余熱利用施設整備推進事業費

・・・1,535万8千円

ごみ熱エネルギーの有効利用には、焼却炉の安定稼動が命。炉の稼動7年後から始まる余熱利用施設の、炉にとって重荷となる点を追求します。

★学校図書館司書配置

勤務時間の延長、配置校拡大を進める年

市内11ブロックの小中学校1校ずつに、11人の司書が配置されました。

総経費671万8千円。学校図書館が活発化することを歓迎し、残り63校への配置計画策定を求めます。子ども、教師、父母、地域から声が集まることを期待。

★子どもと本

本を贈ること、本を整備する計画の両方が進む年に

①ブックスタートの充実

「司書資格を持つコーディネーター」を図書館で行われている赤ちゃん広場へ派遣し、「赤ちゃん絵本リスト」を配布。リストの絵本を公共施設に配置する計画も進んでいます。幼稚園、保育園での絵本整備状況調査とともに、豊橋版ブック・プレゼントについて議論する機が熟してきました。

②子ども読書活動推進計画策定へ

子どもの読書推進で「公共施設」が担う部分とは？子ども文化に関わる市民活動から十分に意見を吸い上げ、一緒に計画を策定すること、図書館を中心に、他部局が連携することが必要。

メモ：豊橋市議会ではすべての予算を、全議員が一堂に会して審査します。そのため3月議会は1ヶ月の長丁場となり、時間との闘いの中、大変やりがいのある日々を送ることになります。質疑に参加する議員だけでなく、職員も含め、さまざまな市政の課題について、理解を深める機会と捉えています。



ゼロウェイストに向けての課題 ～その③～

農業・女性・学校(給食)をつなぐ

学校給食についての最新情報

食の安全が大きな問題になっています。では、子どもたちの学校給食の質、量の確保はどうなっているのでしょうか。国、県の補助金の流れを具体的にお知らせします。

1. 食材はどこから？ (H14年度使用状況)

- 野菜
(すべて国内産が使われている)
＜豊橋産100%のもの＞
とうがん(1,899)
葉ねぎ(16,672)
カリフラワー(1,049kg)
ほうれんそう(1,343)
スイカ(223個)
柿(4,122個)
その他の野菜11種でも、
豊橋産が多く使われている
- 肉類
豚肉: 39,428kg(国産)
牛肉: 18,515kg(国産)
鶏肉: 38,238kg
(県内産+1部国内)
- 主食
米: 一昨年末までは県産のブレンド米、昨年度より「あいちのかおりSBL」に県が一歩。
小麦: パン製造段階で、県内産小麦20%+国外産小麦80%の割合

2. 補助金はいくら？

- ①牛乳: 39.18円/本
(国補助金0.54円/本 父母負担38.64円)
- ②米:
昨年度: 玄米60kg14,261円のところへ400円助成(県133円+経済連267円)
今年度: 不作により玄米の価格が31%アップの18,657円になった上、助成金は276円(県92円+経済連184円)の3割減。
*小麦は補助金ゼロ

3. 父母負担の給食費 (食材費の全てを賄っています)

- 小学校: 204円/食
中学校: 236円/食
今年度の給食費は主食5円/食をはじめトータルで6円ほどアップしますが、豊橋市では、給食費の値上げをしないで「物資の調達の中で吸収」する。

毎日の食事(給食)から、ごみ(生ごみや包装材)を出さない、出たごみを燃やさない(堆肥化・資源化する)、出来た堆肥を循環する(給食用野菜栽培、校庭や地域の公園の花壇などで使う)ことで、ゼロウェイストへの一歩を。たとえバケツいっぱい



渡辺 則子(無党派)
とよはし市民会議 代表
所属委員会: 福祉教育委員会
中心市街地活性化調査特別委員会

4. 調理後の野菜くず、教室から出る残飯はどこへ？

東南北の共同調理場で毎日扱うのは約3万6,000食。一場あたり平均250/日の残飯を資源化センターで処理。例外: 南部調理場では、野菜くずと残飯の一部を堆肥化後、資源化センターで処理。北部では、残飯を養豚農家へ。

- 食材の流れと品質、給食、給食費のあり方など、皆さんのご意見をお聞かせください。

太陽光で生ごみを 衣装ケース処理

とき: 5月8日(土) 雨天中止
10時～2次処理と床材作り
14時～南部産廃処理施設めぐり
場所: 杉浦さん宅(東細谷町)
会費: 無料(ケース希望者のみ1,000円)
注意: 一日参加の方は弁当持参
*詳細は0532-48-1203へ。



去る2月8日、家庭で1次処理済みの7ケースを集め、東細谷で初めて2次処理を行いました。堆肥用テントの中では、温度が上がり、白い菌がふかふかと生え、順調なスタートでしたが、3月初め、低温状態下での水分補給を誤り、発酵がストップ! 残念です。やはり10ケース以上で取り組むべきでした。それでも、めげずに2回目の挑戦! 暖かくなり、家庭での1次処理が進む一方で、ハエや虫が発生した場合の問題点を話し合いました。



ご相談いつでもどうぞ

～ピンクの屋根の南栄ふれあいセンター～

TEL&FAX: 0532-48-1203
mail: watanabe@toyohashi-noriko.net
URL: http://www.toyohashi-noriko.net/
とよはし市民会議事務所内(渡辺則子)
〒441-8108 豊橋市町畑町森田38-72

今年の視察は農村と女性をテーマに

豊橋市議会の視察調査費2,781万円のうち、行政視察旅費(議員40名、随行10名)は850万円。とよはし市民会議は一人会派のため、随行なしで17万円を上限に日程を組みます。今年は農業で町おこしを進める、元気な女性グループを視察したいと計画を進めています。

2. 学校、公園、保育園・幼稚園の遊具の 安全管理は？

- ◆学校では
毎月1回安全点検。年2回、業者委託で、点検・整備。修理などにはABCの基準あり。子どもたちからの情報を生かすため、担当の職員が決めてある。
- ◆公園は
460公園、1,649個の遊具を対象に年度当初に点検を委託。年2回修繕や取替え(費用約3,500万円余)。
＜遊具全体の取替え、色塗り替え、部品取替えなど＞
・日常の公園パトロールは、東西土木事務所が行う。
危険発見したらすぐその場で使用禁止に。
・市営住宅内の住宅遊園の管理、点検は住宅課。
・ちびっこ広場は青少年課、赤い羽根遊園は障害福祉課、
・児童遊園は児童福祉課(交通児童館を含む25園は公園緑地課を通して業者に安全点検。民生委員さんへ協力依頼)がそれぞれ独自に管理。
- ◆保育園は
・公立5園は、年1回夏頃安全点検を業者委託。職員目視で日常確認。
・民間園については、それぞれの園で対応。
- ◆幼稚園は
・各園へ県民生部長通知「遊具の安全点検について」のお願い(4月7日付)
*皆さんからの情報が一番大切です。公園遊具についてお気づきの場合は是非、ご連絡を!
＜電話: 0532?51?2646へ。24時間OK＞

1. 中核市となって豊橋では、 「手帳」の交付が早くなった と聞きますが。

- ◆身体障害者手帳:
受付後2～3週間で交付。市が判定した級数が医師の審査と合致した場合は、早くなっています。
*合致しない場合、嘱託医の審査、審査部会(2ヶ月ごと)の審議となり、2ヶ月近くかかります。こうした例は2ヶ月間で10件ほどあります。
- ◆療育手帳:
2週間～4週間かかります。
①市の障害福祉課へ申請。
②受付後、市から東三河児童障害者相談センターへ判定依頼。
③市へ申請書提出時に、面接日程を調整。
④センターで面接、判定。
⑤結果は市から連絡となります。
*18歳以上: 面接の場合(面接日から交付まで1ヶ月)
面接なしの場合(2～3週間)
*18歳以下: 全員面接あり(面接日から1ヶ月)

おこたえます。

